

事務 事業名	コード1	42800	社会体育施設管理費	事業 種別	☐ 国土強靱化地域計画	課	体育振興課		
	コード2				☐ 新市建設計画	所属班	体育施設班		
施策 体系	施策	6	スポーツの振興		☐ 総合戦略	電話番号	64-1101	内線	
	施策の展開	14	スポーツ施設の維持管理		☐ 復興計画	予算 科目	会計		款 項 目
					☐ 定住自立圏構想		一般会計		10 5 2
					☐ 行政改革アクションプラン	根拠 法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例		
					☐ 主要事業				
					☐ 簡易評価				

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	卓球場、文化の杜公園庭球場、海上野球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場・庭球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、干潟さくら台野球場・庭球場各社会体育施設(12施設)の維持管理業務 【使用申請受付】①インターネットによる使用申込受付②電話・来館による受付(総合体育館(体育振興課)、飯岡体育館) 【業務の流れ】 ・施設の使用許可に関する業務(使用許可申請及び使用料の徴収、鍵の貸し出し等) ・施設の維持管理に関する業務(臨時職員雇用等、浄化槽・消防設備維持管理業務委託〔市役所一括委託〕、夜間警備業務委託〔飯岡体育館のみ〕、トイレ清掃業務委託(施設毎)、施設修繕業務等)

(2)トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績)		単位	千円	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
1.臨時雇賃金	5,284	臨時職員賃金(飯岡体育館2名・干潟さくら台1名)	千円	5,322	5,093	5,284	6,154
2.需用費	16,845	光熱水費、修繕料等	千円	10,808	11,990	16,845	15,569
3.委託料	5,534	野球場外野芝生維持管理委託、トイレ清掃委託	千円	5,088	5,552	5,534	7,028
4.工事費	1,221	干潟さくら台野球場内野整備工事	千円	0	0	1,221	1,500
5.その他	4,481	労災等保険料、通信運搬費、原材料費等	千円	4,680	3,826	4,481	5,467
② 特定財源の内訳(26年度の実績)		単位	千円				
1.国庫支出金	0		千円	25,898	26,461	33,365	35,718
2.都道府県支出金	0		千円				
3.地方債	0		千円				
4.その他	3,112	使用料他	千円	2,799	2,791	3,112	2,784
前年度比増減理由:飯岡野球場の防球ネット修繕工事実施のため			千円	23,099	23,670	30,253	32,934
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績)		単位	時間				
施設の使用許可業務	810時間		人	1,20	1,20	1,20	1,20
施設に維持管理業務1,	600時間		時間	2,410	2,410	2,410	2,410
			千円	9,158	9,158	9,158	9,158
			千円	35,056	35,619	42,523	44,876

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 飯岡野球場防球ネット修繕 干潟さくら台野球場内野整備工事	ア 施設使用料	千円	2,599	2,791	3,112	2,784
目的	27年度計画(27年度に計画している主な活動) 飯岡野球場外野芝生維持管理委託の開始 海上コミュニティ運動公園野球場内野整備工事	イ 施設の修繕料	千円	1,997	2,565	6,687	5,581
		ウ 10万円以上の修繕件数	件	3	3	10	10
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	・市民 ・管理している社会体育施設	ア 人口(4月1日現在)	人	69,223	68,725	68,241	67,819
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 管理している社会体育施設数(社会体育施設として稼働している施設数)	箇所	12(6)	12(9)	12(9)	12
	・安全かつ快適に施設を利用できる。 ・施設を良好に維持管理し利用者に供する。	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	ア 管理している社会体育施設の延べ利用者数	人	37,702	48,619	55,610	60,000
	市民が運動習慣を通じて体力が向上する(スポーツ技術の向上、交流の促進)	イ () 施設の維持管理に起因した事故件数	件	0	0	0	0
上位目的		⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
		ア 市内スポーツ施設の延べ利用者数	人	157,214	169,787	177,903	182,000
上位目的		運動習慣が身につけている市民の割合	%	未把握	未把握	未把握	未把握

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の管理運営事業が始まった。	・平成17年7月1日合併時の社会体育施設は、13施設があったが、平成24年3月に海上体育館及び海上庭球場が廃止され、また、平成24年4月に文化の杜公園庭球場が新設され現在12施設を管理運営している。 ・全国的に施設の老朽化が進んでおり、類似施設の廃止や統廃合を進めている自治体が増えている。	各種競技を行っている市民から各種競技専用の施設を整備してもらいたい、との声がある。(サッカー専用場・硬式野球場)

事務事業名	社会体育施設管理費	課名	体育振興課	班名	体育施設班
-------	-----------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	施設設備の維持管理を充実することにより、その機能が良好な状態で利用に供されることは、市民が運動習慣を通じて体力が向上することに結びつく。	
	② 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】		対象等については、拡大の余地はなく適切である。
	③ 行政関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】		
有効性 評価	④ 成果の現状水準	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】	社会体育施設の延べ利用者数は増えているが、稼働率にはまだ余裕があり、見直し余地がある。	
	⑤ 成果の向上余地	☒ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やし、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】		・経年劣化による施設等の不具合や突発的な破損・故障が生じやすくなっている。 ・修繕は、緊急性・優先度を考慮して対応しているが、予算の関係で、十分対応できないものがある。 ・予算を増額することにより、施設等の維持管理が充実する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(総合体育館管理費、コミュニティ広場管理費、社会体育施設改修事業) (2) ☒ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】		
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 (表面トータルコストの事業費部分)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	施設の統廃合を進めることで事業費を削減する余地はある。	
	⑧ 人件費の削減余地 (表面トータルコストの人件費部分)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】		飯岡体育館臨時職員2名、干潟さくら台臨時職員1名、又、海上コミュニティ運動公園野球場管理人委託1名で管理運営しているので、削減することは難しいが、施設の統廃合を進めることで人件費を削減する余地はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	旭市使用料及び手数料に関する条例の規定により、使用者から使用料を徴収している。	
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？			

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	社会体育施設全体の経年劣化による損傷が激しい施設が多くなってきているので、全施設の劣化状況を把握する必要がある。把握後は、大規模改修又は部分的廃止等の計画立案が必要である。 また、施設の利用実態を精査し、利用者増のための具体策を検討する必要がある。	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
☐ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☒ 事業統廃合・連携(関連事業： 総合体育館管理費、コミュニティ広場管理費、社会体育施設改修事業) ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																							
いつまでに	なにを、どうするのか？																						
①平成27年度	①各社会体育施設の劣化状況を把握する。																						
②平成28年度	②優先順位を含む重複施設の統廃合を視野にいれ、計画等を立案する。																						
③平成27年度	③利用者増のための具体策の検討																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
・統廃合された施設の利用者からの苦情等が考えられるので、十分な説明及びお知らせ期間等を設ける必要がある。 ・過去の修繕履歴がない中で利用可能年数の積算方法の検討。																							